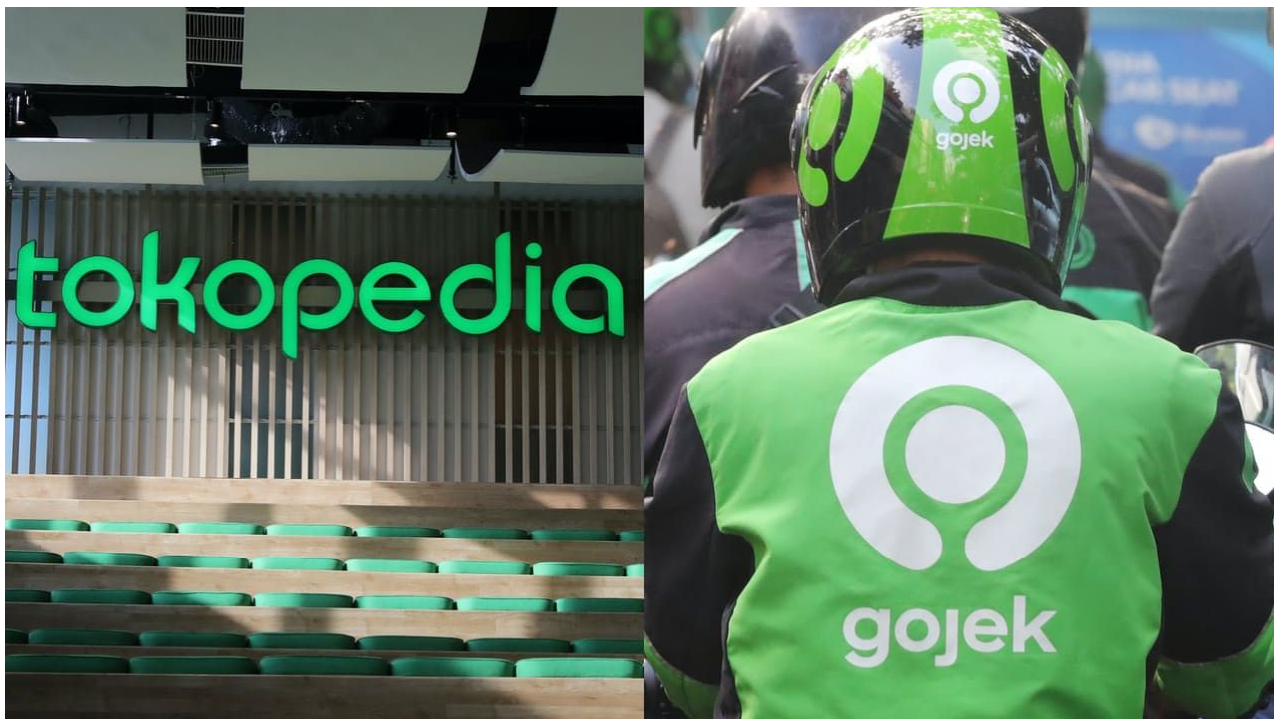


## ゴトウー、4月4日に上場 最大1490億円を調達へ

2022/3/15 20:00 | 日本経済新聞 電子版



ゴジェックとトコペディアが経営統合したゴトウーはインドネシアと米国で上場を目指す方針を表明していた

【ジャカルタ=谷翔太郎】インドネシアの配車大手ゴジェックとインターネット通販大手トコペディアの統合会社であるGoTo(ゴトウー)は15日、インドネシア証券取引所への上場計画を発表した。4月4日に上場し、最大17兆9920億ルピア(約1493億円)の調達を見込む。

計画では新株520億株を発行し、公募価格を1株あたり316~346ルピアに設定する。同国を含む東南アジアでは生活に身近なサービスを広範囲に提供する「スーパーアプリ」の利用が拡大しており、上場による資金調達でシンガポールのGrabやシーなどライバルとの競争に対応する。

アンドレ・スリスツヨ最高経営責任者(CEO)は15日の記者会見で「インドネシアはデジタル化やサービスの普及の点で大きな成長の余地を残している」と強調した。配車から宅配、ネット通販、金融など幅広い事業を展開し、上場資金でサービスの利便性を高める狙いがある。

インドネシアの代表的なユニコーン(評価額が10億ドル以上の未上場企業)だったゴジェックとトコペディアは2021年5月に経営統合した。インドネシアと米国でそれぞれ、上場を目指す方針を表明していた。

パトリック・カオ社長は米国での上場の時期について「今後、数カ月間に市場の力学がどのように働くかを見る必要がある」と述べるにとどめた。ロシアのウクライナ侵攻に伴う世界的な商品価

格の上昇や米連邦準備理事会（FRB）の利上げなどの動きを見極めるとみられる。

同じインドネシアのユニコーンでは、ネット通販大手のブカラパックが21年8月、同国史上最大の21兆9000億ルピアを調達して上場した。ただ、株価は現在、新規株式公開（IPO）時の価格を約67%下回っている。

本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は、日本経済新聞社またはその情報提供者に帰属します。また、本サービスに掲載の記事・写真等の無断複製・転載を禁じます。

Nikkei Inc. No reproduction without permission.